努力事項解説　その2　（小学校特別活動）

活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」の内容を十分に展開するために課題とされていることについて、どのようにしていけばいいか考えてみます。

十分に展開するために、次の課題を解決していきましょう!

7「議題ポスト等に、常にいくつかの議題案が入っていますか?

これは、児童に「議題ポストに議題案が入っていないようだから入れるように。」と促してくださいという意味ではありません。議題ポストに議題案が入らないのは、児童の学校や学級生活に対する意識が低く、いろいろなことに気がつかないということが考えられますが、それは、指導が適切に行われていないからだと思われます。そうならないようにするために、次の視点が必要です。

学級や学校における生活上の諸問題について、児童が意識を高くもち「自ら気付く」ように、学校全体で指導していきましょう。

そうすることで、児童が「いろいろな問題」や「こうした方がもっと楽しくなる」といったことに気付き、解決したいと思い、議題案を議題ポストに入れるようになります。

学級活動（1）の内容は、自発的、自治的な内容ですが、だからといって「指導せずに待っている。」とか「指導していけない。」ということではありません。あくまでも、教師の適切な指導の下に行われるもので、教師の指導は必要です。

学級や学校の生活について、児童が、いろいろなことに気付いたり、「もっと楽しく過ごすためにできることをしたい」と考えることができるように教師の指導をしっかり行っていきましょう。

そのためには、学級活動（1）の内容を確実に理解し、計画に基づいて学校全体で推進していくことが必要です。具体的な方法については、「特別活動の部屋」で紹介していきますので、ぜひ活用していただき、学級活動（1）を充実させて欲しいと思います。

次回は、「8 司会や記録などの役割を輪番制で行っていますか?」について考えていきます。

8月2日（金）頃アップの予定です。